

正則学園 67	17	1st	24	都立美原 89
	15	2nd	23	
	9	3rd	21	
	26	4th	21	

初戦となった正則学園戦。緊張からか序盤ミスが見られたが、徐々に落ち着きを取り戻し、自分たちのペースをつかむ。2Qでは、ファストブレイクからの連続得点に成功し、32-47とリードを広げる。3QでDFのプレッシャーを強め、相手のミスを誘発し得点を重ねていく。4Qでファウルトラブルに陥り、相手にペースを握られるがリードを守り切り67-89で勝利した。

武蔵野大学附属 千代田学院 30	10	1st	37	都立美原 168
	4	2nd	51	
	9	3rd	45	
	7	4th	35	

新人戦支部大会2回戦。1Qから速攻から得点を重ねペースをつかむ。2Qでは、DFプレッシャーを強め、ファストブレイクからの連続得点に成功し、14-88とリードを広げる。3Qではインサイドプレイヤーの1on1から得点を重ねリードを更に広げる。4Qに入ってもDFプレッシャーを弱めず40分間戦い抜き、30-168で勝利した。

都立美原 97	22	1st	3	九段中等教育学校 16
	25	2nd	6	
	22	3rd	7	
	28	4th	0	

3回戦となった九段中等教育学校戦。1Qから得意の速攻から得点を重ねペースをつかみ、リードを広げる。2Qでは、相手のゾーンDFに苦しめられる時間帯もあったが、選手たちでコミュニケーションを図り対応する。その後、自分たちのリズムを取り戻し、47-9とリードを広げる。3Qではインサイドプレイヤーの1on1や3Pシュートも決まりだし、得点を重ねリードを更に広げる。4Qに入ってもDFプレッシャーを弱めず40分間戦い抜き、97-16で勝利した。

都立美原 76	27	1st	21	都立大崎 73
	17	2nd	14	
	14	3rd	17	
	18	4th	21	

新人戦支部大会4回戦。これに勝ったら本大会出場となる重要な都立大崎戦。序盤からアグレッシブなオフェンスで勢いに乗り、立て続けにシュートを決める。その勢いそのまま前半は44-35と9点リードで前半を終える。3Qで相手の激しいDFに苦しめられ、リズムに乗れない時間帯が続くが、リバウンドを頑張り続けた結果、何とかリードを保ち58-52で勝負の最終Qを迎える。相手のエースプレイヤーに立て続けに得点を取られ、残り1分を切って、ワンポゼッション差。一進一退の攻防が続く。最後のワンプレーで相手の3Pシュートが落ち、リバウンドを奪取。接戦を制し、76-73で勝利し本大会出場を決めた。

都立青山 76	12	1st	24	都立美原 100
	26	2nd	20	
	13	3rd	32	
	25	4th	24	

新人戦支部大会準々決勝。これに勝ったら創部初のベスト4となる重要な都立青山戦。序盤から立て続けにミスを連発し、リズムに乗れない。要所でDFとリバウンドを頑張り、リードを広げることに成功し、1Qは12-24。2Qは相手のゾーンDFに苦しめられ、ターンオーバーから連続得点を許してしまう。悪い流れのまま点差を詰められてしまい38-44と6点リードでなんとか前半を終える。3QでDFのプレッシャーを強め、得意のファストブレイクから連続得点を奪うと流れを持ってくることに成功するが、4Qは相手のリバウンドに苦しめられるが、チームDFでなんとか粘り切り76-100で勝利し、創部初の支部大会ベスト4となった。

都立美原 63	13	1st	20	日本学園 93
	12	2nd	23	
	14	3rd	29	
	24	4th	21	

新人戦支部大会準決勝。相手はインターハイやウィンターカップにも出場経験のある日本学園。1Qから相手の強度の高いマンツーマンに苦しめられ、なかなかシュートを決められない。相手のファストブレイクが次々と決まり、前半25-43と点差を広げられてしまう。3Qも相手の激しいDFに苦しめられ、リズムに乗れない時間帯が続く。全員で守備意識を高めるが相手の方が1枚上手で、39-72で最終Qを迎える。「4Qだけでも勝とう」と選手同士で声かけする姿も見られ、残り3分からオールコートマンツーマンで勝負をしかける。最後の力を振り絞り、ファストブレイクから連続得点を上げるなど最後まで戦い抜いたが、63-93で敗れた。力の差を感じるとともに、公式戦で日本学園と戦えたことは選手にとって大きな経験となった。